

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。

事務事業名	事務局運営経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	1	目	2	事業	3
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当係	総務	係	作成者	倉持 勝利	内線(電話番号)	8211	シート作成日	H30.11.9	部長決裁日	H30.11.15		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市教育大綱)		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	・現在、公用車において、旧石下自動車学校の車両(初年度より19年経過している)を使用している。職員の安全確保のためには新たな車両が必要である。 ・豪雨災害を受けてから、9/11に市内小中学校一斉防災学習を行っている。茨城大学・筑波大学の協力でワークショップの指導をしてもらっている。指導する学生数の関係で全学校での指導が出来ていないのが現状課題である。	誰・何を対象に 教育委員会事務局(学校教育課)、茨城大学・筑波大学(教授、学生)・児童生徒	望ましい状態 ・管理車両の維持管理により良好な状態に保つ。 ・防災学習に多くの大学生に参加してもらい、市内小中学校の全校に指導がいきわたり、児童生徒の防災意識が高まる。
どのような方法・手順で	豪雨災害の影響を受けて、様々な防災教育を継続し行っていくことで、災害時の行動を身につけてもらうことが大切であると考えため9/11の「防災の日」に一斉に防災学習を行う。また、公用車やライオンズバスを安全に運転するための定期点検等業務を行う。		

3 事務事業の主たる成果指標 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	小中学校一斉防災訓練時指導員人数(大学生)	単位	人	目標値	30人	目標年次	平成 30 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	指導員として参加してもらっている人数を増やすことで、もっと児童や生徒に指導がいきわたると考え指標及び目標値とした。
-----	-----------------------	----	---	-----	-----	------	----------	-------------------------------------	---

4 事務事業の実績 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度					
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量				
事務事業を構成する主な業務	① ライオンズバス運転手の配車業務	随時	① ライオンズバス運転手の配車業務	随時	① ライオンズバス運転手の配車業務	随時				
	② 事務局公用車の維持・管理業務	随時	② 事務局公用車の維持・管理業務	随時	② 小中学校一斉防災学習時の大学との連絡調整業務	随時				
	③ 各種負担金補助業務及び交付金業務	随時	③ 各種負担金補助業務及び交付金業務	随時	③ 事務局公用車の維持・管理業務	随時				
	④		④		④ 各種負担金補助業務及び交付金業務	随時				
	⑤		⑤		⑤					
	⑥		⑥		⑥					
	⑦		⑦		⑦					
	⑧		⑧		⑧					
	⑨		⑨		⑨					
	⑩		⑩		⑩					
	⑪		⑪		⑪					
	⑫		⑫		⑫					
目標値に対する実績値		人	目標値に対する実績値		人	目標値に対する実績値		人		
決算額	計	2,686,955 円	内訳	特定財源	0 円	計	3,580,600 円	内訳	特定財源	0 円
				一般財源	2,686,955 円				一般財源	3,580,600 円
		(住民一人あたりの行政コスト)	43 円		(住民一人あたりの行政コスト)	59 円		(住民一人あたりの行政コスト)	65 円	

5 担当者評価 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標未達成 小中学校一斉防災訓練において、全校に指導がいきわたることはできなかったが、災害に対する行動について、児童・生徒に伝わったと思う。
問題点	・小中学校一斉防災訓練において、指導者(大学生)の参加が少なかったために、全校に指導がいきわたるようできなかったこと。 ・公用車の老朽化に伴う整備不良が絶えない状況であるのが問題である。

6 担当部長及び担当課長評価 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

・公用車の老朽化が目立ち、安全確保のためにも更新が必要と考える。
 ・防災教育先進都市を唱えるのではなく、防災教育と訓練を定着させ、命を守る防災教育を継続する必要がある。

7 実施計画 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業内容	臨時職員賃金(ライオンズバス運転手) 報償費(小中学校一斉防災学習時謝礼) 需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、旅費) 役務費(自動車法定点検料、保険料) バス借上料(プール授業用:2校分) 備品購入費 負担金補助金及び交付金		臨時職員賃金(ライオンズバス運転手) 報償費(小中学校一斉防災学習時謝礼) 需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、旅費) 役務費(自動車法定点検料、保険料) バス借上料(プール授業用:3校分) 備品購入費 ●デジタルアスマン通風乾湿計 107,676円 学校保健安全法に基づく「学校環境衛生基準」により実施している学校環境衛生検査において使用する乾湿計。現在、小学校14校、中学校5校、幼稚園5園の計24施設での検査を4台の乾湿計で実施しており、その検査時期が重なることから、円滑に検査できるよう1台の追加購入が必要。 負担金補助金及び交付金		臨時職員賃金(ライオンズバス運転手) 報償費(小中学校一斉防災学習時謝礼) 需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、旅費) 役務費(自動車法定点検料、保険料) バス借上料(プール授業用:4校分) 備品購入費 負担金補助金及び交付金	
	歳出	計	2,584 千円	歳出	計	2,947 千円
	歳入	特定財源	0 千円	歳入	特定財源	0 千円
予算額	計	2,584 千円	計	2,947 千円	計	3,094 千円
		一般財源	2,584 千円		一般財源	2,947 千円
		計	2,584 千円		計	2,947 千円

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、平成29~31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成30年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。水害にあった常総市として、一斉防災訓練の実施は素晴らしいことと思う。一層の防火意識高揚のための指導に期待する。また、19年経過した傷みが出ている公用車については、考慮しなければならない。

10 最終評価(行政改革推進本部) 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

学校での防災教育と一斉訓練は、大学や河川事務所、消防などの協力を得ながら内容の充実に努め、市民全体の防災意識向上に繋げたい事業である。

11 事務事業の改善理由 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

学校での防災学習による一斉訓練を通じて、市民全体の防災意識向上に繋げられるよう努める。